

「江東区学校施設の将来ビジョン」を策定

～こどもたちや教職員、保護者や地域の方々にも愛着を持ってもらえるような学校づくりを目指す～

学校施設の改築・改修については、平成24年に「江東区立小中学校の改築・改修に関する基本的な考え方」を策定し、この「基本的な考え方」に基づいて整備を進めてきました。策定から12年が経過し、この間に生じた教育環境の変化や災害の激甚化などを経て、学校施設に求められる機能が多様化してきました。

こうした状況変化に対応し、将来にわたって長く親しまれる学校整備を行っていくため、今後の施設整備の指針として「江東区学校施設の将来ビジョン」を策定しました。

今後、学校を改築・改修する際には、校舎と体育館を集約化して限られた敷地の効率化を図るほか、エレベーターの設置によるバリアフリーに配慮した計画、水害時の避難に使用する施設や設備については、浸水の高さを考慮した計画とします。また、学校の主役であるこどもたちみんながかがやく場づくりとして、教室をはじめ、教育環境の充実を図ります。

改修については、既存躯体をそのまま使用するなどの制約がありますが、可能な限り方針の実現を目指していきます。



整備事例



内装の木質化



体育館の非浸水階設置

問 学校施設課施設設計画係 ☎ (3647)8543 📠 (3647)8547

江東区俳句教育の取組

松尾芭蕉、石田波郷等、俳人ゆかりの地である本区では、俳句に親しむ児童・生徒の育成を目指して俳句教育に取り組んでいます。「こうとう学びスタンダード」の「国語スタンダード」にも「季節を感じ、俳句に親しみます」と俳句を位置付け、すべての学校で、児童・生徒が俳句を作り、親しめる機会を設けています。

●俳句授業への講師派遣

各学校が俳句授業を行うための支援として、俳句講師を各学校に派遣しています。長年、本区の俳句教育に関わっていただいている俳句講師が、一緒に授業に入り、担任の先生のサポートを行っています。教室や廊下に俳句を掲示している学校も多く、日常的に俳句作りに取り組んでいます。

●江東区立小・中学校俳句集「きらり」の作成

俳句授業等で児童・生徒が作った俳句の中から、各学校で代表の句を選出し、俳句集にまとめています。優れた俳句を表彰し、互いの作品を鑑賞し合うことで、俳句教育のさらなる充実を図っています。この俳句集は、毎年発行し、各学校での俳句教育に活用できるよう、学級文庫や図書室等に置いてもらっています。

す。区立図書館にも置いてありますので、ぜひご覧ください。

●「きらり☆こうとう俳句祭」の開催

毎年2月～3月頃、「きらり☆こうとう俳句祭」を開催し、俳句集に掲載された児童・生徒を表彰しています。「区長賞」「区議会議長賞」「教育長賞」「特選」を受賞した児童・生徒には、区長、区議会議長、教育長から表彰状が授与されます。その後、選者の方々から、それぞれの句の良い点を専門的な見地から講評をいただきます。

●俳句教育通信の発行

定期的に俳句教育通信を発行しています。俳句講師が区内小中学校を訪問し、授業した際の指導の状況やこどもたちが鑑賞し合った様子などを区のホームページに公開しています。

●江東区立中学校俳句部の活動

特色ある部活動の一つとして平成23年度に創部しました。部員たちは、熱心に活動し、俳句のコンテストでの入賞等のほか「きらり☆こうとう俳句祭」では運営に協力して活躍しています。今後も活躍の機会をさらに広げ、活動を充実させていきます。



問 教育支援課教育支援係 ☎ (3647)9307 📠 (6458)6087